

週間漁海況情報－2018年第36号

平成30年9月18日

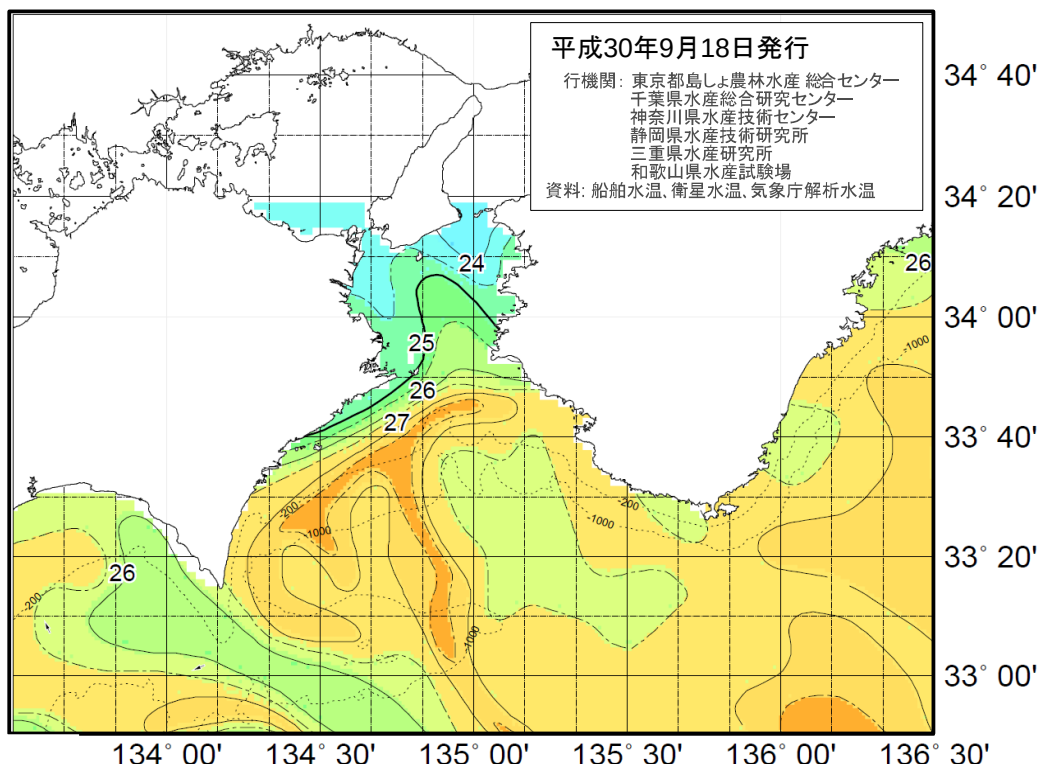
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(9月12日～9月18日)

黒潮は、室戸岬沖では先週に引き続き「離岸」で推移した。潮岬沖では12日以降南下して「離岸」で推移した。

18日の徳島沿岸の水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道で24～25℃台、海部沿岸で24～27℃台であった。海部沖合には27℃台の反時計廻りの暖水塊があり、水温フロントがみられる。黒潮の表面水温は27～29℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

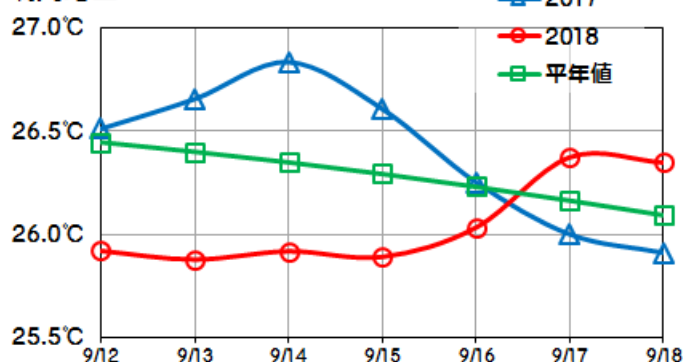
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(9月12日～9月18日)

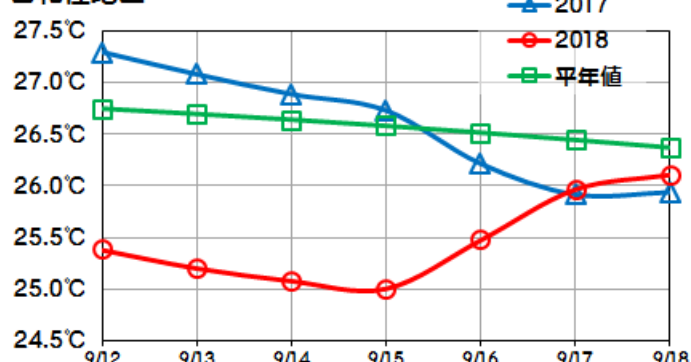
鳴門地区の地先水温は、「やや低め」から「平年並み」の25.9℃～26.7℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、週の前半は「やや低め」から「低め」であったが、週の後半は「平年並み」となり、25.0℃～26.1℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(9月19日～9月25日)

黒潮は、室戸岬沖は「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖は「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の25～26℃台、日和佐地区は「やや低め」から「平年並み」の25～26℃台で推移する見込み。

漁況 2018年9月10日～9月16日（旧暦7月21日～7月27日）

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが52.0ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大主体に0.2ト、タチウオが特大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて3.0ト、サワラが大きく増えて2.7ト、タチウオが大きく増えて特大主体に1.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えて1.2ト、カンパチが増えて0.8ト、マダイが0.4ト、マアジが小小主体に0.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて11.3ト、タチウオが0.5ト、マダイが0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

釣りでは、タチウオが0.6ト、カンパチが0.4ト水揚げされた。

延縄では、カサゴが特大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	52	シラス	52,000	1,000		→
	釣り	8	イサキ	159	20	大主体	↗↗
		9	タチウオ	123	14	特大主体	↗
	延縄	26	ハモ	3,045	117	中主体	↗
		43	サワラ	2,674	62		↗↗
		56	タチウオ	1,053	19	特大主体	↗↗
	小型定置網	15	ブリ	1,246	83		↗↗
		12	カンパチ	814	68		↗
		16	マダイ	415	26		↘
		14	マアジ	375	27	小小主体	↘
		16	ヘダイ	349	22		↘↘
	底びき網	33	ハモ	11,260	341	中主体	↗
		15	タチウオ	461	31		↗↗
		18	マダイ	213	12		↘
		17	イボダイ	176	10	大主体	↘
	海部沿岸	釣り	11	タチウオ	608	55	
40			カンパチ	354	9		↗↗
延縄		5	カサゴ	169	34	特大主体	↗
小型定置網		5	カンパチ	400	80		↗
		4	ヒラソウダ	120	30		
		4	マルソウダ	115	29		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘